

令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	合同会社 HOS AK 小樽		
開催日時	令和 7 年 8 月 28 日 14 時～15 時		
開催場所	合同会社 HOS アルバ小樽		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	6 名	代表、GH 統括部長、所長、サービス管理責任者、支援員数名
	入居者	2 名	
	入居者ご家族	1 名	
	地域の関係者	2 名	
	福祉に知見を有する方	0 名	
	経営に知見を有する方	0 名	
	市町村担当職員	2 名	生活支援課
議題	(1) 挨拶・参加者、構成員紹介 (2) 会議の目的 (3) グループホームの取り組み等の説明 (4) 施設見学、感想等（構成員の感想） (5) 意見交換 (6) その他		
協議内容 意見等	(1) ～ (2) 省略 (3) ・施設等のサービスの透明性・質の確保について ・施設等と地域との連携について ・利用者の権利擁護 (4) 施設についての質疑・応答 ～質問～ ・利用者の男女比について 回答：AK 小樽を利用している入居者さんは 7 月現在で 20 名がおり男性は 16 名、女性が 4 名となっております。 ・AK 小樽オタモイの場所について 回答：オタモイ 1 丁目 7 番 18 号です。 ・AK 小樽長橋Ⅱの場所について 回答：長橋 5 丁目 1 - 14 です。 ・飲酒・缶類の取り扱いについて 回答：グループホーム内は原則飲酒は厳禁またお酒の缶等も持ち込み不可となっております。 ・どんな障害をもっている利用者住んでいるのか 回答：主に精神障害の方が大半ですが知的・身体の方も入所しています		

～ 施設見学 ～

今回、見学を行ってもらったのは「AK 小樽 幸」のグループホームです。



現在、当施設では4名の利用者が共同生活を営んでおります。トイレ・浴室・リビングは共用スペースとして使用しており、各利用者が時間を守りながら、互いに配慮しつつ生活を行っています。日々の生活の中で、個々のペースや特性を尊重しながら、安定した生活環境の維持に努めています。

現在、男性寮には主に20代から60代の利用者が入居しており、年齢や障害特性に応じた個別支援を行っています。服薬管理については、支援員が毎日確認を行い、服薬漏れや誤薬の防止に努めています。金銭管理については、必要に応じて支援を行い、本人の意思を尊重しながら安全な金銭の取り扱いを支援しています。

食事内容については、利用者の栄養バランスや個々の嗜好を考慮しながら、現在は配食サービスを活用しています。今後は、健康面への配慮や満足度の向上を目的として、食事内容の見直しを検討していく予定です。特に、生活習慣病予防やアレルギー対応など、個別の健康状態に応じた食事提供が課題となっており、より柔軟な対応が可能な体制づくりを進めていきます。

また、利用者からは「もっと種類を増やしてほしい」との希望も寄せられており、メニューの多様性や選択肢の拡充についても併せて検討していく方針です。

季節ごとのイベントや余暇活動については、利用者の希望を反映しながら、内容の見直しを継続的に進めています。特に、参加意欲や満足度の向上を目的として、活動内容の多様化や個別ニーズへの対応を意識した企画を検討しています。

今後は、地域交流や外出支援の機会を増やすことで、社会参加の促進と生活の質の向上を図っていく方針です。地域の行事や施設との連携を通じて、利用者が安心して外出できる環境づくりにも取り組んでまいります。